

よらいや やらいや 公民館

訂正とお詫び

2019館長だより 7月号に掲載しました「令和元年度青谷地区座談会の概要について」の中で、「青谷地区は全域が洪水浸水想定区域内です」と書きましたが、青谷町総合支所地域振興課より「青谷地区全域が洪水浸水想定区域内ではない」という指摘を受けました。地域振興課より提供いただいたハザードマップによりますと、井手、本町、浜町、灘町、前町、長和瀬、夏泊、中町の一部は、洪水浸水想定区域内ではありませんでした。

情報を精査することなく、誤った記事を掲載し、青谷地区の皆様にご心配をおかけしましたことにつきまして心よりお詫び申し上げます。今後、このようなことがないよう努めてまいりますと思います。たいへん申し訳ありませんでした。

青谷地区公民館長 浜江康雄

海水浴と磯遊び

テレビで白兔海水浴場や浦富海水浴場の「海開き」のニュースを見ると、子どもだった頃のことを思い出します。

その当時、青谷小学校にはプールがなく、青谷海岸で水泳の学習をしました。水泳帽には、泳力によって色のちがうリボンが縫い付けてありました。最高ランクの「大黒」をめざして、必死になって練習したことを今でも覚えています。沖には飛び込み台が設置してありました。飛び込み台まで泳いでいくことや、飛び込み台から海に飛び込むことが目標でした。

また、現在、青谷海岸から夏泊漁港までは道路になっていますが、その当時は、夏泊まで岩場が続いていました。通称「しわき」と言って、子どもからお年寄りまでが海藻や魚、貝などを採集することができる素晴らしい場所でした。そこには、「ふかんど」という高い岩に囲まれた深い淵があり、岩の上から飛び込むことが勇気の証でした。

海開きになると、青谷海水浴場や井出が浜海水浴場には海の家やトイレ、シャワーなどの施設が出来、多くの海水浴客で賑わいました。そこで売っていたカキ氷やアイスキャンデーが食べたかったのですが、いつも「腹が冷えてお腹をこわす」と言われて食べたことがありませんでした。本当は、お金がなかったのです。海は、友達との交流の場であり、青谷の自然を満喫できる場所の一つでした。

今、海などの水辺は楽しい場所から危険な場所へとなっています。わたしも教員をしていた頃は、夏休み前の生活指導では「海へは大人の人と一緒にいきましょう」と指導していました。また、学校のプールは監視員が配置されなくなり、保護者の方が交代で子どもたちの見守りをされるようになりました。プール開放できない学校もあるように聞いています。

子どもたちの命を守ることが第一ですが、子どもたちに泳力や海の知識を身につけさせる機会も必要ではないかと思ひます。夏休みになると、いい方法はないかと毎年悩んでいます。



はまちゃんの釣り情報

梅雨真っ只中。釣果も湿りがちである。夏泊で防波堤のテトラの間に落ち、釣り客が死亡する事故が発生した。立ち入り禁止区域等での釣りは、たいへん危険である。

グッド、ラック！！

7月19日現在



長尾鼻 梅雨の長雨と寒気により、海の状態が余りよくない。そのため釣り客も少なく、先月と同様に、アオリイカと夜釣りの白イカが釣れている程度である。

漁港防波堤 小アジも余り釣れていない。

砂浜海岸 キスがぼつぼつ上がっているが、大きさにムラがある。また、フグが多くなった。

地磯周り 型は小さいが、カサゴが釣れる。

コンビニ袋に入ったゴミのポイ捨てが目立ちます。釣り場のゴミは必ず持ち帰りましょう。釣り針等の仕掛けも危険です。必ず持ち帰りましょう。

シリーズ環境 ～不法投棄パトロールから～

G20サミットの成果として、焦点の一つだった海洋プラスチックごみの対策については、ごみの適性処理を進めて2050年までに新たな汚染をゼロにすることをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を共有するとされました。世界各国が協力して環境問題に取り組むことはとても大切なことです。また、我々一人一人の行動が問われている身近な問題でもあります。何月号まで続くかわかりませんが、「シリーズ環境」として、身近な環境問題について考えていきたいと思ひます。

初回は、「不法投棄パトロールから」考えてみたいと思ひます。

不法投棄パトロールは、鳥取市長から委嘱を受けた鳥取市廃棄物不法投棄監視員が廃棄物の不法投棄の未然防止、早期発見と適切な措置を講じることを目的として監視活動を行っています。青谷地区では、毎月1回、5名の監視員が手分けをして青谷地区全域をパトロールしています。

パトロール終了後、青谷地区公民館において業務報告書を作成し、市長に報告しています。その際に、よく話題になるのがコンビニ袋に入れられたごみやペットボトル・空き缶などのポイ捨てが非常に多いということです。皆様も自動車を運転していたり、ウォーキングなどをされたりしている時に目にされるのではないかと思います。ポイ捨てされたごみの多くは、いつまでも消滅することのないナイロンやプラスチックなどです。風や雨に流されて風化し、海に流れ出て海洋プラスチックごみとなります。海洋プラスチックごみは、人体にも大きな悪影響を与える物として問題となっています。

冒頭でも述べましたが、環境問題は我々一人一人の行動が問われている身近な問題です。日々の生活の中で、「環境にやさしい暮らし」に努めていきたいと思ひます。



お知らせ

2019 青谷地区公民館 年間行事予定をお届けします。ご利用ください。